

きょうたんて

vol.142



新春企画

謹賀新年

市政トピックス

2016 わたしの抱負 **申**します

「日本のふるさと大丹後展」を開催ほか

2016
平成28年

1月号

1月8日発行

写真：網野神社で初詣

誰もが喜びを豊かに育みゆくさとへ

京丹後市長 中山 泰



あけましておめでとうござい
ます。

市民の皆様には、平成28年
の新春を健やかにお迎えのこと
と、心よりお喜び申し上げます。

昨年は、待望の京都縦貫自
動車道の全通と峰山方面への事
業着手、新・京都丹後鉄道のデ
ビューなど都市部・近隣との交
通アクセスの飛躍的向上の時代
をいよいよ迎えるとともに、こ
の機会を適確に捉え様々な活力
を大きく育むため、地方創生
戦略・人口ビジョンの策定とそ
の取組みにいち早く着手しまし
た。織物の本格的な再生を希
求する新シルク産業創造、EV
タクシー、夢まち創り大学がス
タートし、また、創生けん引の

体制として、地元金融機関、京
都府警との各連携協定、名古屋
事務所の設置、吉本興業との笑
顔大作戦などを整え、テレワー
ク事業の着手、ジオパークのユ
ネスコ公式事業化、ビーチフェ
スタ・海博など海の京都推進、
食のみやこの躍進、国のバイオ
マス産業都市への認定、第1回
はあと&きらめきワークフェス
タ開催、久美浜・峰山・弥栄の
新保育所誕生と豊かな小中一貫
教育の推進、弥栄病院の建替え
着手、そして森本工業団地への
入居第一号の決定など、あらゆ
る分野で多くの取組みを全力で
進めてきました。米軍経ヶ岬通
信所も本格稼働され、また、ケ
ネディ米国大使の訪問をご縁に
子ども達の日米交流も始まろう
としています。更に、新たに生
活の現場から多くの市民ビジネ
スが生まれつつあります。

少し思いを馳せてみれば、何気
ない日常の中にいかに多くの幸
せ、喜びのタネがあふれている
ことでしょうか！金言、至言でも
ある「たとえば水の中に居て渴
（かつ。かわきの意味）を叫ぶ
が如くなり。長者の家の子とな
りて貧里に迷うに異ならず」白
隠禅師）からもたとえられるよ
うに、厳しい状況の中にも既に
周りは豊かさや宝にあふれてい
ます。あとは、どうそれらに気
づかせていただけるか。更に及
んで、本市に所縁の深い日本電
産の永守社長さんは「困難は必
ず解決策を一緒に連れてくる。
私はそれゆえ、困難さん」と呼
んでいる。その中にチャンスが
既に入っている。」と話され、困
難の事情の中にすら宝を見て
おられます。あるがままの「B
e」をこよなく大切にすること
で、いろんな豊かさ、魅力、宝
が自然と見えてくる。そうなれ
ば、それを磨き、育んでいくた
めの、まちづくりの「DO」が
自ずと導かれます。現在も、本
市を巡る豊かさへの気づきを通

じ、「2000円バス」「生ゴミか
らエネルギーを創る環境循環」
「百歳福寿のまちづくり」など
の取組みが生まれ、発展を続け
ています。

私たちは、普段、食事はじめ
生活の諸活動の中でいただくモ
ノ・サービスに込められている
沢山の人の汗やお力の一つ一つ
に思い巡らしながら、例えば今
日一日振り返って、自ら人に尽
くしたことで、先人や他人から
自分にいただいたことを比べて
みる。だけでも、いただく方
が圧倒的に大きい。ことに気づ
かされ、日常の中の人様のお蔭
やご恩の計り知れない尊さ、有
難さに思い至ることができま
す。さすれば転じて、深い感謝
とともに、他人の喜びのために
どう行動するか、に自ずと導か
れ、更に及んで、人に喜びを
与え、人の喜ぶ姿を見てともに
喜ぶ。ことにも通じてきます。

各分野で緒につき始めた地方
創生の諸取組みを更に力強く発
展させていくため、引き続き、
本市をあげて全力で取り組んで
まいります。そして、互いに心
一つに、支え合い、たすけ合い、
喜びを贈り合う、ことを大切に、
それを通じて笑顔と喜びが循環
し、誰もがそれぞれ、喜びや幸
福実感をますます豊かに育んで
いく、あらゆる分野で「和のち
から」が輝く市民総幸福が永永
く発展するさとへ。

本年が市民の皆さんにとって
ますます喜びの多い豊かな年で
ありますよう心からお祈り申し
上げまして、新春のごあいさつ
とさせていただきます。



「文化創生」から新たな京都を

京都府知事 山田 啓二



府民の皆さま、あけましてお
めでとうございます。

昨年7月には、長年の悲願で
あった京都の南北軸、京都縦貫
自動車道が34年という長い歳月
をかけてようやく全線開通しま
した。京都全体に大きな流れを
創るこの大事業の完成に尽力さ
れた全ての方々に、心からお礼
を申し上げます。

この開通を期し北部7市町に
おいては、4カ月にわたり「海
の京都博」を開催し盛り上げて
いただきましたことに對しまし
ても感謝申し上げます。

また、昨年は琳派400年記
念事業、さらに国宝「東寺百合
文書」と第二次世界大戦後のシ
ベリア抑留者等の引き揚げ記録
「舞鶴への生還」の世界記憶遺
産登録。そして「日本茶800

年の歴史散歩」京都・山城」の
日本遺産への認定など北から南
まで京都の持つ豊かな文化を示
すことが出来た一年でした。

しかし、地方消滅とまで言わ
れる少子・高齢化問題や、雇用
情勢が好転すると顕著になる人
材不足。円安により輸出産業が
伸びる一方、内需型中小企業は
原材料高に苦しみ、伝統産業も
広幅織物は伸びたのに対し着物
の需要はまだまだ低迷、さらに
はT P P問題で農林水産業には
懸念が広がるなど、さまざまな
課題が改めて浮き彫りになった
年でもありました。

こうした課題の克服と同時に
京都の力を最大限に発揮して、
京都の将来を切り拓くことがで
きるよう、昨年10月、「京都流
地域創生」『文化創生』から新
たな生活を」をテーマに「京
都府地域創生戦略」を策定しま
した。

こうした問題の背景には東京
一極集中や、大都市や大企業志
向に代表されるような価値観の
固定化が進む中での格差の広が
りがあり、社会が柔軟性を失い
つつあるのではという危惧があ

ります。今、京都から、少子化
問題・子供の貧困対策、若者の
就労支援などでもう一度「人づ
くり文化」を確立させ、マネー
ゲームにはない真の豊かさを取
り戻すために産学公の力を結集
し、技術力に裏打ちされたもの
づくりの素晴らしさを広め、京
都の豊かな農林水産資源を六次
産業へと発展させる時代を踏ま
えた「産業文化」を育成し、京
都ならではの伝統・文化に恵ま
れた大都市と豊かな自然をも
つ田園の両方の魅力享受でき
る、ある面贅沢な「京都ぐらし
文化」を創生させなければなり
ません。そしてこうした文化を
統合させ、京都が多様性に富み、
躍動的な地域として魅力を世界
に発信できる「地域づくり文化」
へと昇華させていくことが必要
だと考えています。

これからの数年は京都の将来
を左右する大事な時です。地域
創生は他人事ではなくまさに私
たちの未来です。

京都には、どこにも負けない
歴史と伝統があります。さらに
は世界水準の大学・研究機関、
高い技術力を持った中小企業の

集積、豊かな自然環境など魅力
的な資源や資産をたっぶり有し
ています。

昨年は「海の京都」を見てい
ただきました。そして今年には「森
の京都」です。京都府の74.3%
は森林であり、森は私たちの水
を清め、空気をつくり、災害を
防ぎ、さらには貴重な木材資源
を提供してくれます。何にも代
えがたい宝である京都の森の素
晴らしさを皆さまとともに分か
ち合い、次世代に引き継ぐため、
「全国育樹祭」を中心に、森の
恵みを府民の皆さまに体感して
いただく「森の京都博」や丹波
高原の国定公園の新規指定な
ど、林業の振興と自然保護と森
の文化が一体となった「森の京
都スタイル」の確立を目指した
地域づくりを進めることとして
います。

こうした素晴らしい森林を未
来に受け継いでいくための財源
として、「豊かな森を育てる府
民税」の導入を昨年、府議会で
ご議決いただきました。4月か
ら年600円お願ひすることに
なりますが、どうか府民の皆さ
まに、この税に対するご理解を

いただきたいと思います。

京都の未来を拓く人をつく
り、地域経済を活性化させて仕
事をつくり、京都への人の流れ
をつくる。さらには新しい交流
の中で持続可能で魅力と活力の
ある地域をつくり、そして京都
から日本を変える新たな「文化
創生」。今多くの観光客が京都
を目指しています。単に名所旧
跡があるからだけではなく、京
都の持つおもてなしの心、人を
癒す環境、ほんまもんが持つ力
が人々を引きつけているのだと
思います。

今年、リオデジャネイロで
の夏のオリンピック・パラリン
ピックが終わればいよいよ東京
オリンピック・パラリンピック
への道のりが始まります。その
皮切りが、秋に京都で行われる
国主催のスポーツと文化の国際
フォーラムです。京都の「文化
創生」はいよいよ本番を迎えま
す。府民の皆さまのご協力を心
からお願ひし、この一年の、皆
さまのご健勝とご多幸を心から
お祈り申し上げます、新年のごあい
さつといたします。

ハガキ100枚を購入しました。
身近な新聞や雑誌のクイズに
挑戦し、脳の現状維持に努め
ます!!



紀平 孝枝さん (弥栄町)

仕事もプライベートも、
決めたことはやり通す!!



高倉 隆さん (弥栄町)

いろんな方から頼りにされる
よう努力し、笑顔での接客を
心掛けます!!



小國 満代さん (久美浜町)

今年も兄弟仲良く!!



荒田 晴大くん・雄大くん (峰山町)

児童や学校の仲間、友人を大
切にして、明るく過ごした
い!!



太田 絵美さん (大宮町)

料理の腕を上げるぞ!!



矢谷 静花さん (網野町)

京丹後市に住むアメリカ人と
地域のひととの友情が深まりま
すように!!



堀江 竜次さん (丹後町) Dave Bruno さん (峰山町)

2 0 1 6

謹 賀 新 年

わたしの
抱負



します

新年号では、本年の干支である「申」の文字にちなみ、
市民の皆さんに今年の目標や抱負を申していただきました。
それぞれの今年こそ!の決意を笑顔とともに紹介します。

「第13回但馬ドーム地域対抗
少年野球選手権」で優勝する
ぞ!!



峰山スーパーボーイズの皆さん

たこ焼き百万個焼くぞ!!



北元 正康さん (網野町)

丹後のおいしい果物をたくさ
んの方に味わってもらえるよ
うPRします!!



吉田 綾華さん (峰山町)

着物文化の継承と発展!!



京丹後市きもの交流会の皆さん

あなたの
今年の抱負は
なんですか?

介護福祉士の資格を取るため
に、いっぱい勉強する!!



米田 美智子さん (丹後町)

京丹後の釣リスポットや、魅
力を大勢に紹介します!!



林 敏明さん (峰山町)

丹後産コシヒカリで、日本一
の「酒」をつくる!!



白杉 悟さん (大宮町)

オカリナのかいりいな音色が出
せるよう、レベルアップを目
指します!!



吉岡 伸子さん (大宮町)

福祉

障害のある人もない人も、ともに輝く未来へ

第1回はあと&きらめきワークフェスタ開催

障害のある人が自分の才能を伸ばしながら様々な場面で活躍し、自立した生活につなげるとともに、地域と交流を図ろうと11月15日、丹後王国「食のみやこ」で市内関係団体等と連携し、「第1回はあと&きらめきワークフェスタ in 京丹後」(同実行委員会主催)を開催しました。

同フェスタでは、障害がある人たちによるステージ発表をはじめ、絵画作品の展示や物産展、講演会などが行われ、障害のある人もない人も一緒に歌や踊りを楽しみ、また、手作り作品の鑑賞や購入などを通じて、共に触れ合いながら楽しい時間を過ごしました。

また、障害者週間に合わせて京丹後市役所で開催された「第9回ほっとはあと製品展&第24回障害者週間記念作品展」では、約600点の手作り製品や作品を展示。来庁者は、帽子やバック、陶芸品、絵画、書道など心温まる品々に見入っていました。



①ステージで元気な歌声を披露の手作りのドーナツや小物などが並ぶ物産展③市役所で展示されたさきり織や手すき和紙製品など



ふるさとテレワークのブランディングについて発表する松村会長

総務省「ふるさとテレワーク推進のための地域実証事業」を進める本市では、テレワークに関する知識の普及および情報共有を図るため11月

商工業

ふるさとテレワーク全国研究会を開催 12団体、研究者ら意見交換

29日、(公財)丹後地域地場産業振興センターで「京丹後市ふるさとテレワーク全国研究会」を開催しました。

同研究会には、情報通信に関する業務を行う企業や研究者らが参加。テレワークの推進に当たり、活用の可能性をはじめ、戦略から期待できる効果、注意点など12人が発表しました。

「テレワークの地域活性化効果」をテーマに発表を行った

た、帝京大学の中西穂高教授は、高知県を例に「テレワークを活用することで、行政事務を地元アウトソーシングできる」と話しました。

また、日本ふるさとテレワーク学会の松村茂会長は、「ふるさとテレワークのブランディング」と題した発表で、「進出企業を地域全体でサポートする仕組みづくりと、地方の生活に、あこがれを抱かせるリーダー、メンターの発掘・育成が必要」と話すなど、テレワークの効果的な推進方法などについて意見交換や情報共有を図りました。

道路交通

「山陰近畿自動車道早期実現促進大会」を開催 地域の安全・安心、国土の強靱化へ決議

平成27年7月に京都縦貫自動車道が全線開通し、丹後地域では観光客の増加などストック効果が大きいと表れる中、その先線である山陰近畿自動車道の早期実現に向けた動きを加速させようと11月22日、アグリセンター大宮で初めて同自動車道早期実現促進大会(丹後・地域高規格道路推進協議会主催)を開催しました。

大会には、府北部の3市2町とその地域住民33団体の関係者約300人が参加。主催者を代表し、同協議の会長を務める中山市長が「本自動車道は、国土軸形成の架け橋。丹後、県域、国に貢献できる大切な基盤であり、地方創生には欠かせない。会場、地域が一体となつて前進していきたい」と力強くあいさつしました。来賓祝辞では、西田昌

司参議院議員が「地方道路整備は日本全国のデフレ化防止となる。近畿の南北軸の構築に尽力する」と述べました。

基調講演では、森昌文国土交通省道路局長が「地域の活性化と道路ネットワーク」をテーマに各地の事例などを交えて持論を展開。最後に、全線早期整備が進められるよう4つの実現項目を掲げた大会決議を行いました。



網野銚子山古墳などから出土した円筒埴輪を鑑賞する内覧会参加者

市では、平成27年7月に京都縦貫自動車道が全線開通し、都市部との交流がより盛んになることを好機に、京都府北部の美しい自然や豊かな歴史、伝説を広く紹介する「日本のふるさと大丹後展」が、12月5日から京都文化博物館(京都市中京区)を会場にスタートしました。(平成28年1月17日まで)

同展では、交流(中国・朝鮮半島との交流を物語る出土品)・伝説(浦島・鬼退治など数多くの伝説)・霊地(天

橋立周辺の寺社や修験寺院)・生産(現代まで引き継がれるものづくりのふるさと)の4つのテーマを設定。国の重要文化財をはじめ、府市指定の文化財など137件を出品しています。丹後の至宝を一同に集めた同規模の展覧会は初めての開催となります。

会場には、初日から多くの来場者が訪れ、日本最古の紀年銘鏡「青龍三年銘方格規矩四神鏡」や左坂墳墓群で出土した「青いガラス玉」、「丹後ちりめんの豪華な婚礼衣装」

などを前に立ち止まりじっくりと鑑賞に浸っていました。

翌週の13日には、本市在住のサウンドアーティスト鈴木昭男さんによる陶埴コンサートが開かれました。鈴木さんは、陶埴の源流を求め山口県下関市まで自転車旅した様子を写真で紹介しながら、現地で心に響いた音を演奏し、40人のファンが聞き入りました。

シンポジウム
「大丹後展の見どころを探る」

大丹後展に関連して、市内においては12日、峰山総合福祉センターで「大丹後展の見どころを探る」と題したシンポジウム



展覧会の企画委員を務め、シンポジウムで講演した京都府立大学の4教授

ンポジウムを開催。同展の企画委員として参画した、京都府立大学の4教授が登壇。遺跡から探る交流の歴史や中世丹後の神仏と信仰、海と川が繋ぐ丹後の江戸時代についての講演ならびにパネルディスカッションを通じて、約200人の来場者とともに丹後の歴史に迫りました。

文化財

「日本のふるさと大丹後展」を開催 過去最大規模、丹後の至宝を一挙公開

目次

index

年頭あいさつ	P2
新春企画 2016 わたしの抱負 申します	P4
市政トピックス 「日本のふるさと大丹後展」を開催／「第1回はあと&きらめきワークフェスタ」を開催 ほか	P6
市政ガイド 全国学力・学習状況調査結果／マイナンバー制度が始まりました。 ほか	P10
まちのわだい サンタの贈り物に子どもたち笑顔／世界でひとつのペンダント完成 ほか	P16
消防の広場 自助・共助・公助の連携で災害に備える	P18
みんなの広場 表彰／旬★感たんごはん「お餅の生姜風味味噌だれ」 ほか	P20
生命の絆	P22
情報ファイル 市の文化財／ピックアップ／ジオトピックス／図書館だより ほか	P24
京丹後人⑥ 古代丹波歴史研究所 所長 伴 とし子 さん	P28

今月の「きょうたんごで“いいね”きもので“初詣”



今月の表紙は、新しい年を迎え、新たな決意を胸に神社へお参りする光景を撮影しました。

<撮影協力>

- ◎着付け／谷 康子さん、西途 陽子さん(右)
- ◎ヘアメイク／高山 信さん(左)
- ◎モデル／吉田 綾華さん
- ◎場所／網野神社 西川 康一さん

庁舎整備

市役所本庁舎整備検討委員会を開催

本庁舎整備の基本的な方向性まとまる

平成27年度第2回京丹後市役所本庁舎整備検討委員会が11月16日、京丹後市役所で開催されました。

同委員会では、本庁舎整備の基本的な方向性等について審議結果をまとめました。

整備の基本的な方向性は、更なる市民の利便性及び行政運営の効率性の向上を図るため、『峰山庁舎については、

左表のとおり本庁機能の集約化を図り、峰山庁舎前の防災倉庫を取り壊し、4階建ての増築棟を新築すること』を確認しました。

なお、整備に当たっての留意点として、本庁機能集約に伴い、峰山庁舎前の駐車場は、さらに混雑することが予想されるため、来庁者用駐車スペースをできる限り確保す

るべき、また、通勤時の交通渋滞がさらに激しくなることが想定されるため、職員の公共交通機関の積極的な利用、通勤経路の分散化など渋滞対策を検討すること等が挙げられました。

本庁舎整備事業基本計画など詳細については次号でお知らせします。



除雪車の操作方法を学ぶ地区役員ら（網野庁舎別館前駐車場で）

< 本庁機能の集約化 >

峰山庁舎 (増築棟含)	議会事務局、秘書広報広聴課、企画総務部、財務部、市民部、医療部、会計課、監査委員事務局、農林水産環境部、農業委員会事務局、商工観光部、建設部、上下水道部
大宮庁舎	教育委員会事務局
福祉事務所	健康長寿福祉部

※下線は、網野庁舎及び大宮庁舎から峰山庁舎に移転する部局

教育

総合教育会議で意見交換

教育行政のさらなる推進へ

市と市教育委員会が十分な意志疎通を図り、教育の課題やあるべき姿を共有して、教育行政の推進を目指す「京丹後市総合教育会議」を11月18日、京丹後市役所で開催しました。2回目。会議では、教育大綱策定にかかる協議をはじめ、いじめ防止対策や次年度からの小中一貫教育の全市展開、地方創生と教育について報告および意見交換を行いました。

そこに付加すべきこと、あるいは留意すべきことがあれば、そこにかぶせて検討していくという方向性と、市民の声をより広く聴いて作成する方法を検討しながら、最終的に来年度に策定することを確認しました。

また、いじめ防止と小中一貫教育に関しては、本市では、いじめや不登校の生徒が減少しており、特に不登校については、明らかに小中一貫教育の交流による効果が出ているという報告と意見交換を行いました。

交通

住民参加で市民協働による除雪の充実へ

小型除雪車を2地区に貸与

本市では、住民参加による除雪体制の充実を図るため、自治会へ除雪機械の貸与を行っています。

今年度は、2台の小型除雪車を新たに導入。除雪車の配置式を11月26日、網野庁舎別館前で実施しました。

式には、今年度新たに配置する久美浜町谷地区と車両の老朽化に伴い更新を行う丹後町井谷地区の役員らが出席。本市から除雪車の

鍵を受け取った後、納入業者から運転時の注意点や操作方法などを学びました。

谷地区の岩狭副区長は、「これで除雪範囲が広がる。細かな除雪を心掛け区民の負担軽減につなげたい」と話していました。

貸与は、平成16年度から市民協働事業の一環として実施。主に区内の狭小な市道や歩道などの除雪を目的としています。

行財政改革

外部の視点で市の施策・事務事業を評価

従来発想にとらわれず抜本的見直しが必要

市では、市の事務事業や施策を外部の視点から点検・評価するため、「京丹後市行政評価委員会」（窪田好男委員長・京都府立大学准教授・6人）による「外部評価」を8月から10月にかけて実施しました。その結果をまとめた「外部評価報告書」が11月13日、中山市長に提出されました。

今年度の対象は、京丹後市総合計画に掲げる34施策のうち8施策とそれを構成する事

務事業で、委員会では市役所内部で行った自己評価に対して、その妥当性などを検証。

同じ予算や人員で更に効果を上げる方法はないか、同じ効果を更に少ない予算や人員で挙げる方法はないかななどの行政評価の視点から、22件の改善点を指摘しています。

また、普通交付税が平成27年度から段階的に縮減され、大幅な歳入の減少が見込まれることから、事業の見直しや

縮小などの歳出抑制のための9件の具体的なアイデアも提案されました。

報告書では、「行政評価の視点からはおおむね妥当」としながらも、「歳出抑制の視点からは従来の発想にとらわれない事務事業の抜本的見直しが必要」と総括しています。

また、「部局間や施策間の総合調整を行った上で、より効率的・効果的に施策を展開していくことが重要」「交付先団体が自立できるよう留意し

た補助金制度の設計や見直しが重要」としています。

窪田委員長は、「委員会の評価結果をきっかけに市民にも市の事業に関心を持っていただき、地域に眠るさまざまなアイデアが市民から引き出されることを期待する」と話していました。

各施策における主な評価結果（指摘・提案内容）は次のとおりです。

〇 行財政改革推進課
☎ 6910050

－ 外部評価結果（要旨）－

- **商工業・雇用** <所管：商工観光部>
人口流入の促進や人口流出の抑制・歯止めを重視する中、「U・Iターンやマッチング促進、人材育成等による就業者数の拡大」に向けた取り組みのより一層の充実を。
- **漁業・海業** <所管：農林水産環境部>
漁業者数が減少している中、本市の豊かな海、海岸などの資源をより有効に活用することと合わせて、漁港の機能を高めつつ効率化を図るため、漁業・海業の数十年先の姿を見据えて、市内の漁港の機能を一定集約化するという視点を持つことも必要。
- **自然環境** <所管：農林水産環境部、市民部、建設部>
海岸漂着物の回収の取り組みを進めているにもかかわらず、毎年多くの漂着物が発生している。原因解決に向けた対策や取り組みを進めるよう引き続き国や京都府に要請を。
- **健康** <所管：健康長寿福祉部>
健康づくり推進員がいない地区がある中、区の理解を深めるなど、推進員の増加に努めていくべき。
- **土地利用** <所管：建設部>
指定管理施設の使用料について、市の施設全体の使用料の見直しの検討と整合を図りつつ、見直しの検討を進めてはどうか。
- **住宅** <所管：企画総務部、建設部>
空き家の有効活用や公営住宅の多様な供給方法という視点も考慮しつつ、市が直接建設して供給している公営住宅の戸数を減少させることを検討し、更なる事業費の削減を図ってはどうか。
- **障害者福祉** <所管：健康長寿福祉部>
常設販売所（クリエイトショップ「くりくり」）について、これまでの成果や費用対効果を検証した上で、定期的に来店してもらえるよう商品を工夫するなど、より効果的・効率的な運営に向けて改善や工夫する点がないか検討するよう補助金交付先団体へ働きかけるべき。あわせて、取り組みについて一層の周知を図るべき。
- **国際・地域間連携** <所管：企画総務部、市民部>
国内の地域間交流・連携の取組である友好都市交流事業について、民間主体の活動や交流を活性化させる方向で事業の見直しを検討してはどうか。

外部評価報告書は、市ホームページ（<http://www.city.kyotango.lg.jp/shisei/shisei/gyokaku/>）に掲載しています。



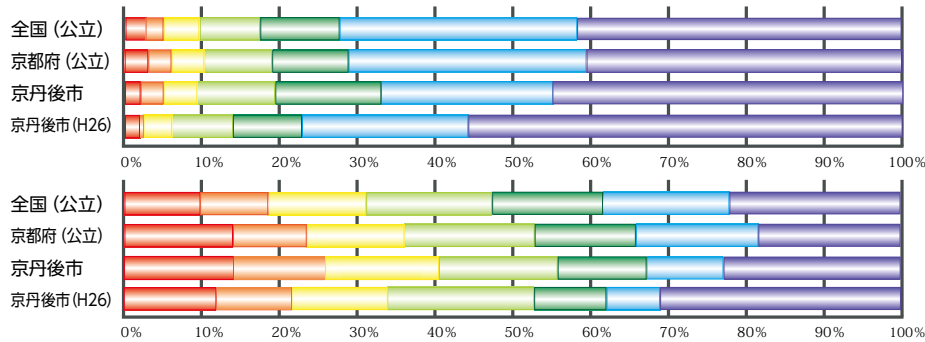
▶ 中山市長に外部評価結果について報告する窪田委員長（右）

携帯電話・スマートフォンの利用状況で通話やメール、インターネットをしますか？

■ 4時間以上 ■ 3時間以上、4時間未満 ■ 2時間以上、3時間未満 ■ 1時間以上、2時間未満 ■ 30分以上、1時間未満 ■ 30分未満 ■ 持っていない

【小学校】

【中学校】



グラフ…携帯電話・スマートフォンの利用状況 ④小学校 ⑤中学校

携帯電話・スマートフォンの利用状況は、小学校と中学校とも、昨年度と比べると「持っていない」として、割合が少なくなっており、中学校では8割近くが、小学校では半数以上が、家庭で携帯電話やスマートフォンを使っている状況です。現在の社会の状況から、「持たせない」「使わせない」ばかりでなく、「どう使うか」ということがより大切になると考えます。学校、家庭、教育委員会が連携・協力し、子ども達の学習習慣の定着と望ましい生活習慣のために方向付けを行い、取り組みを進めます。今後、各学校や中学校区で、家庭と協力・連携し、家庭での学習習慣の定着や、携帯電話等を使う際のルールづくりなど、具体的な取組を進めていくことが必要だと考えています。

携帯電話・スマートフォンの利用状況について
一方、携帯電話・スマートフォンの利用状況は、小学校と中学校とも、昨年度と比べると「持っていない」として

割合が少なくなっており、中学校では8割近くが、小学校では半数以上が、家庭で携帯電話やスマートフォンを使っている状況です。現在の社会の状況から、「持たせない」「使わせない」ばかりでなく、「どう使うか」ということがより大切になると考えます。学校、家庭、教育委員会が連携・協力し、子ども達の学習習慣の定着と望ましい生活習慣のために方向付けを行い、取り組みを進めます。今後、各学校や中学校区で、家庭と協力・連携し、家庭での学習習慣の定着や、携帯電話等を使う際のルールづくりなど、具体的な取組を進めていくことが必要だと考えています。

京丹後市 児童生徒の 全国学力・学習状況調査結果

平成27年4月に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果をお知らせします。同調査は全国的に子どもたちの学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の改善を図ることなどを目的に、平成19年度から小学校6年生と中学校3年生を対象に文部科学省が実施しています。また、今年度は、小・中学校で理科も実施されました。市教育委員会では、調査結果を踏まえ、指導の充実や改善などを図るとともに、地域・家庭・学校が連携し、総がかりで子どもたちの教育を進めていきます。※調査結果は、平成27年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領に基づき教育委員会が公表するものであり、あくまでも学力の側面です。

全国学力・学習状況調査の結果

小学校	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
全国（公立）	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8
京都府（公立）	72.1	67.5	77.6	47.5	62.2
京丹後市	71.7	67.4	78.2	46.0	60.8

中学校	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
全国（公立）	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0
京都府（公立）	76.7	66.5	65.3	42.5	52.7
京丹後市	78.8	67.6	65.3	40.8	54.7

※小中学校共に、A問題は基礎、B問題は活用を中心とした内容

市の平均正答率 概ね全国平均を上回る

学力課題を分析し、地道な取り組みによる成果

平成26年度は、小学6年生、中学3年生共に、全ての教科で全国平均を上回りましたが、今年度は、小学、中学共に、平均を概ね上回る結果となりました。

府平均と比較すると、特に小学6年生は、京都府が全国

的にみてもかなり高い結果を出しており、算数Aを除いてやや下回る結果となっています。

また、中学3年では、数学Bが全国平均よりやや下回る結果となり、数学の活用問題についてやや課題が見られる状況です。

各学校では学力の充実・向上に関わる課題を克服するために、本調査等の結果の分析を行い、一人ひとりの課題に応じた支援を行うなど、地道に取り組みを進めてきました。

また、学習の基盤となる学級の雰囲気づくりや、児童生徒が意欲的に学べる授業づくりについて、教育委員会と学校が連携して取り組みを進めてきた成果だと考えられます。

小中一貫教育も効果

中学3年については、小学6年時の本調査においては、国語でやや課題

があったものの、中1・中2の府診断テスト、今回の調査では府平均を上回る結果となっています。小学校での課題を、各中学校区で一緒に分析したり、中学校でのスムーズな学習のスタートを支援したりする小中一貫教育の成果が表れていると考えられます。

学校・学年ごとに見ると 学校間に差

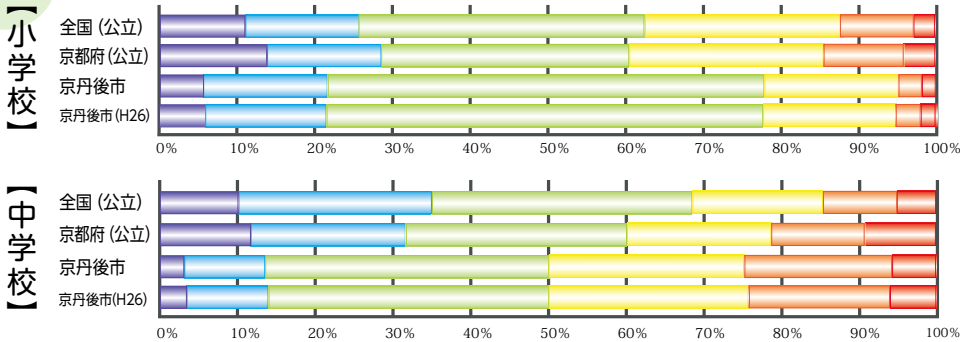
どの学校・学年も学力向上に向けて地道に取り組んでいるものの、様々な要因によって全国・府平均を下回る学校もあります。基盤となる学級経営の充実、一人ひとりの課題などに応じた指導が進められるよう、学校として授業力や指導力を高める取り組みを進めています。

家庭学習の状況について

家庭学習の状況では、小学校では半数以上が1時間から2時間の学習をしており、2時間以上の児童も昨年度より多く

家庭学習の時間（平日）は？

■ 3時間以上 ■ 2時間以上、3時間未満 ■ 1時間以上、2時間未満 ■ 30分以上、1時間未満 ■ 30分未満 ■ 全くない



グラフ…平日における家庭学習時間状況 ④小学校 ⑤中学校

なるよい傾向が見られています。中学校では、2時間以上家庭学習をしている生徒は全国・府と比べて少ない状況であり、半数に近い生徒は1時間未満の学習時間となっています。やや課題があります。

全ての学校・学級で 全国平均以上の正答率を

主体的に学習する力の向上に向けた指導の充実

教育委員会では、今回の調査結果を踏まえ、①毎年、市平均が全国平均を上回り、最終的にはすべての学校・学級が全国平均を上回ること②児童・生徒が自己肯定感を持ち、

自分で計画を立て学習する習慣を付け、生活習慣をよりよく見直す態度を身に付けたりすることを目標として、取り組みを進めていきます。

小中一貫教育を、引き続き学力向上の重要な手段として

平成28年度から、小中一貫教育を全市で実施

市教育委員会では、小中一貫教育導入準備校である、丹後町および弥栄町、久美浜町の各中学校区の取り組みを中心に、各中学校の様子を今後もお知らせしていきます。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
導入研究校（研究モデル校）の指定	2中学校区 峰山中・網野中学校区 導入研究校を指定（2年次）			
導入準備校の指定	1中学校区 導入準備校を指定（2カ年指定）	4中学校区	3中学校区	
小中一貫教育実施校		2中学校区 峰山中・網野中学校区 小中一貫教育を導入し、実施校を順次拡大	3中学校区 峰山中・網野中・大宮中学校区	6中学校区 市内の全中学校区で実施



④峰山中学校で理科の授業を体験する峰山中中学校区の小学校の児童たち⑤丹後中学校区の小・中学校の教諭が合同で実施する授業研究会の様子（豊栄小学校で）

図 学校教育課
☎6910620

本市の小中一貫教育については、平成26年度から順次取り組み、平成28年度は、いよいよ全市で実施となります。これまでに確認できている成果や課題を検証し、引き続き学力向上の重要な手段として、就学前から中学校卒業までの10年間を見通した系統だった指導を進めていきます。



「弥栄学園」が目指す授業、学習のあり方にのっとった授業を小中全教職員で見学

インタビュー



弥栄学園推進会議
会長 上田 隆嗣

弥栄学園推進会議会長
上田隆嗣弥栄中学校長に、
弥栄中学校区の小中一貫教
育について聞きました。

平成 28 年度スタート

小中一貫教育、完全実施 ①

本市教育委員会は、平成 24 年度に「京丹後市の学校教育改革構想」を策定しました。この構想に基づき、「小中一貫教育」を平成 26 年度から市内に順次導入しており、平成 28 年度からは、全ての中学校区で完全実施となります。各中学校区の保幼小中学校で、考え方や目指すところ、取り組みの内容などをより一貫的なものにして、子どもたちを育んでいきます。このコーナーでは、今年度の「小中一貫教育導入準備校区」の内容や取り組みを、シリーズでお伝えします。第 1 回目は、弥栄中学校区の取り組みです。

弥栄学園の目指す児童生徒像は
「故郷を愛し、強く生き抜く児童生徒」

弥栄中学校区では、昨年度から小中一貫教育導入準備校区として、2 小 1 中学校（吉野小・弥栄小・弥栄中）の児童生徒の相互交流、教職員の相互研究及び実践などを行っています。愛称を「弥栄学園」とし、「ふるさとを愛し、主体的に学び、心豊かで、たくましく生き抜く児童生徒の育成」を目指しています。共通した目標に基づき「小中学校がひとつながりのもの」ということを明確にし、教育活動に取り組んでいます。

また、小中学校だけでなく、保育所・幼稚園との連携も密にしています。弥栄小学校は、弥栄こども園と「もうすぐ 1 年生」体験入学推進事業の指定を受けています。隣接している立地条件を生かし、弥栄小・吉野小へのスムーズな接続を狙い、連携した取り組みを行っています。こども園と小学校相互の教育活動についての理解を深め、系統的・連続的で一貫性のある指導を目指しています。

取り組みのキーワードは
子ども、教員とも「つながる」

今年度の主な取り組みのキーワードは「つながる」です。
一つは子どもたち同士がつながる取

Q 新しく始まる教育体制に向け
て、現在の状況はどうですか

来年 4 月から始まる小中一貫校「弥栄学園」（愛称）に向けて、着実に、一歩ずつ取り組みを進めているという状況です。児童生徒の学びの連続性を高めることに重点を置き、弥栄の子どもたちの将来を見据えながら取り組みを進めています。

Q 今までの成果や、成果に関して感じることは何ですか

これまでの成果として、行事の参観・部活動体験・合同あいさつ運動等、児童生徒の交流などを行ってきました。これらを通じて、児童生徒とともに職員にも変化が現れました。

平成 27 年度に弥栄中学校に入学した 1 年生は、アンケートによると例年以上の割合（91・8％）で学校へ行くのが楽しい（1 学期末）と答え、スムーズなスタートが切れています。2 学期においても、75％以上の生徒が、入学する前からの期待通りだったと答えています。

中学生にとっては、小学生の部活動体験参加が成長の機会となりました。いつも以上に大きな声が出たり、動きが機敏であったり、弥栄の子どもたちの持つ素直さがよく表れました。



「心の文化発表会」では、小学 6 年生が中学校入学への思いを発表した（写真下）

り組みです。児童会・生徒会合同あいさつ運動、中学校での「心の文化発表会」や「部活動体験」に 6 年生が参加するなどの取り組みを行いました。

11 月に実施した「心の文化発表会」では、2 小 6 年生が訪れ、中学校 1 年生の総合的な学習の発表などを見学しました。同 1 年生からのメッセージもあり、また、6 年生の代表からは春から中学生になることへの決意が語られました。

こうした交流を実施することで、子どもたちの中にも小中学校で共に頑張っているという意識が生まれています。

もう一つは、教職員がつながる取り組みです。思いを一つにして、さまざま

た。

教職員に見られる成果は、学力・授業づくり部会の進める「授業づくりの構え」に基づき、ペアやグループ学習を活用した主体的・協働的な学びを重視し、思考力・判断力・表現力をさらに伸ばすための言語活動の充実と視点を当てた授業研究が進んでいることです。

Q 保護者や地域の皆さんにお伝えしたいことは何ですか

弥栄中学校に勤務して 9 カ月になりますが、小中学校ともに保護者・地域の方々から本当に大切にされていると感じます。

弥栄学園では、皆さんとの連携を大切にしながら、こども園も含めて 10 年間の指導の連続性を大切にしていきます。これからもご支援よろしくお願ひします。学校からも学校便りやホームページなどで情報を発信します。地域の子どもたちについて感じること、疑問など、どんな学校へお知らせください。

Q これからの「弥栄学園」で大切にしたいことは何ですか

子どもたちは、今後も変化の激しい時代を生きていきます。「社会の変

まな研究を重ねています。今年度は生徒指導・特別活動部会、教育相談部会、学力・授業づくり部会を推進力として、それぞれ活動しています。中でも、学力・授業づくり部会では、弥栄の児童生徒の学力の特徴を分析し、その改善策を考えています。共通した児童生徒の「学びのルール」、教職員の「授業づくりの構え」、家庭における「家庭学習のすすめ」を作成し、学力向上のための研究・実践に取り組んでいます。

で、校
「弥栄
を越え、
の教育に
の教育に
に学ぶ



研究授業を通し、「弥栄学園」で大切にすることを確かめる教員たち

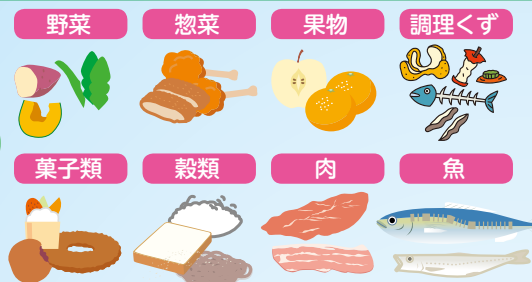
化に対応し、社会を創造できる人材の育成」を目指し、必要とされる力を小中一貫教育の中で、継続性・一貫性を持ちながら育てていきたいと考えています。

また、子どもたちが将来、日本・世界のどこにいても、京丹後市・弥栄町のことをいつも心に持ちながら生きる大人になることを願っています。持続可能な地域社会づくりの中心となり、京丹後市・弥栄町の将来を背負って立つ子どもを、小中一貫教育を通して育てていきたいと思っています。そのため、常に「地域の中で教育は行われている」ことを、子どもたちも教職員も意識し、「地域の中の弥栄学園」として考え、行動することを大切にしていきたいと思っています。

図 学校教育課

☎ 69・0620

資源化の対象
となる生ごみ例



※大きな生ごみは、握りこぶし程度以下の大きさに細分してください。

生ごみとして
出せないもの

食品廃棄物や生ごみの発酵分解に伴い発生する消化液（Ⅱ液肥）の農業利用も着実に増加しています。平

液肥利用量7,000ト
以上に拡大

会も増えてきています。

また、平成26年度に始まった市内保育所・幼稚園・小中学校などの給食残渣の資源化についても順調に進展しており、最近では小中学校の児童生徒が、資源化の現場であるエコエネルギーセンターを見学し、資源循環の取り組みを学習する機会も増えてきています。

市では、平成30年度に市内全世帯の生ごみを資源化するという目標を達成するため、段階的な対象地域の選定、収集体制、受け入れた生ごみの効率的な処理方法などの準備を進めています。

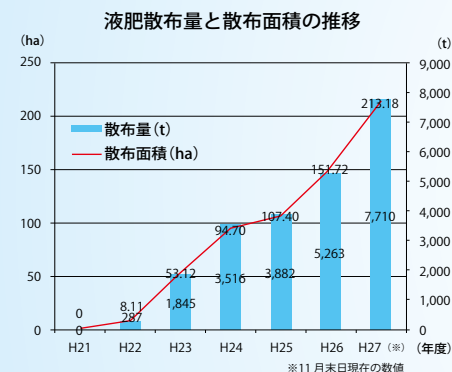
平成30年度に市内全世帯の生ごみを資源化

環
境
から
通
信

Vol.13

生ごみ資源化へ準備進む

平成22年度に6地区200世帯でスタートした生ごみ資源化の取り組みは、平成27年11月現在、12地区1,000世帯まで対象地域が広がっています。

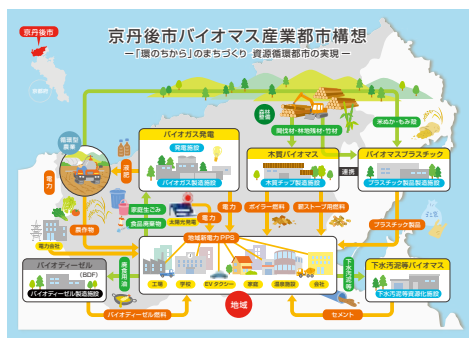


伊藤農林水産副大臣（右）から大村副市長に認定証が授与されました

このたび、国の関係7府省が共同で推進している「バイオマス産業都市」に京都市下で初めて本市（ほか南丹市）が選定されました。「バイオマス産業都市」とは、地域のバイオマスの原料生産から収集・運搬、製造・利用までの経済性が確保された一貫システムを構築し、地域のバイオマスを活用した産業の創出と地域循環型エネルギーの強化により、地域の特色を活かしたバイオマス産業を軸とした、環境にやさしく災害に強いまち・むらづくりを目指す地域で、これまで全国で22の地域が選定されており、今

府内初の選定地区に

バイオマス産業都市に選定

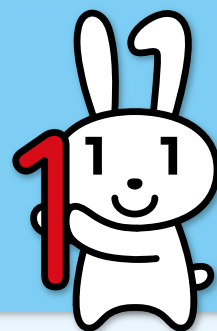


本市のバイオマス活用スキーム図

回、新たに12地域が選ばれました。
バイオマス産業都市構想を策定

本市では、エコエネルギーセンターにおけるバイオガスの発電事業をはじめ、4つの事業化プロジェクトを軸として、「京丹後市バイオマス産業都市構想」を策定しました。今後は、この構想の実現に向けて地域内バイオマスを活用した新たな産業化を目指していきます。

環境バイオマス推進課
☎6910480



皆さんの利便性や行政の効率化を高めるための「個人番号」

マイナンバー制度がはじまりました。

社会保障・税番号制度

1月号では、「個人番号カードの交付」について、お知らせします。

通知カードの受け取りをされていない方へのお知らせ

郵便局へ転送の手続きをされている方、また郵便局の保管期間経過となっている方の通知カードは、市役所へ返戻されています。

返戻された通知カードの交付については、以下の方法により行います。ご希望される方法を市民課（電話69-0210）までご連絡ください。

- ①市民課又は各市民局窓口での受け取り
- ②再度、世帯主様宛に簡易書留（転送不要）で送付

個人番号カードの交付を希望される方へ

個人番号カードの交付申請の方法は、次の3つの方法です。

申請方法Ⅰ … 郵送による申請

- ①通知カードに同封されている個人番号カードの申請書に、署名または記名押印します。
- ②顔写真を貼り付けます。
（サイズ縦4.5cm×横3.5cm）
・最近6ヵ月以内に撮影したもの
・無帽、正面、無背景のもの
・裏面に、氏名、住所を記入
- ③返信用封筒に入れて、投函します。

申請方法Ⅱ … スマートフォンによる申請

スマートフォンで、顔写真を撮影し、申請用ウェブサイト（個人番号カード交付申請書のQRコードを読み取る）へアクセスして申請。

申請方法Ⅲ … パソコンによる申請

自宅のパソコンから、デジタルカメラ等で写真を撮影し、申請用ウェブサイト（「個人番号カード 申請」で検索）へアクセスして申請。

問4 交付申請者本人が、個人番号カードを受け取りに行けない場合は、どうしたらいいの？

答…個人番号カードの受け取りは、本人確認（受け取りに来られた方とカードに貼付された“顔写真”との照合）が必要ですので、「本人受け取り」が原則です。代理の方が受け取ることができるのは、病気や身体の障害等やむを得ない理由により、市民局へのお来庁が困難であると認められた場合に限りです。

※なお、交付申請者が15歳未満の場合、または成年被後見人の場合は、法定代理人の同席が必要です。

（注）国の通達により、カード受取者と写真の同一性の判断が困難であるときは、『顔認証システム』による判定を行うこととされています。判定の結果、同一性が確認できないと判断された場合は交付できませんのであらかじめご了承ください。

問1 個人番号カードの申請をしましたが、交付はいつ頃になるの？

答…個人番号カードは、1月以降申請された方へ順次、交付しますが、カード作成が集中するこの時期は交付が遅れる可能性があります。交付準備が整い次第、市民課から申請者へ『個人番号カード交付通知書兼照会回答書』を郵送しますので今しばらくお待ちください。

問2 個人番号カードの受け取り場所は？

答…市民課から郵送（原則、「転送不要」の郵便）される『個人番号カード交付通知書兼照会回答書』に指定された日時、交付場所（市民局）で個人番号カードを受け取ってください。（※指定された市民局での受け取りが困難な場合は、市民課（電話69-0210）までご連絡ください。）

※窓口が混み合わないよう、日時を指定させていただいています。できるだけ指定日時での受け取りにご協力ください。

問3 個人番号カードを受け取る際に必要なものは？

答…次のとおりです。

- ①個人番号カード交付通知書兼照会回答書（回答書への記入が必要）
- ②通知カード
- ③住民基本台帳カード（お持ちの方は、個人番号カードと引き換えになります）
- ④本人確認書類
A：運転免許証、旅券、住民基本台帳カード（写真付）、身体障害者手帳、在留カード、特別永住者証明書など、いずれか1点
B：上記Aの本人確認書類がない場合は、以下のいずれか2点
健康保険証、介護保険被保険者証、医療受給者証、年金証書、児童扶養手当証書、特別児童扶養手当、通帳、民間企業の社員証、学生証など
- ⑤暗証番号（受け取りの際に、暗証番号の登録が必要です。）
ア：住民基本台帳用暗証番号…数字4ケタ
イ：券面事項入力補助用暗証番号…数字4ケタ
ウ：利用者証明用電子証明書暗証番号…数字4ケタ
エ：署名用電子証明書暗証番号…英数字6文字以上16文字以下
※「ア・イ・ウ」については、同じ4ケタの暗証番号でも登録できます。
※「ウ・エ」については、電子証明書発行の場合に必要です。

問5 代理人が個人番号カードの交付を受け取る際、必要なものは？

答…次のとおりです。

- ①交付申請者本人が「来庁が困難である」ことを証明する資料（診断書、施設入所証明等）
- ②交付申請者へ送付した『個人番号カード交付通知書兼照会回答書』※代理人が受け取る場合は、『個人番号カード交付通知書兼照会回答書』の裏面に、回答書の記入及び“交付申請者本人による暗証番号の記載”が必要です。暗証番号を記載したら、保護シールを貼り、他人には見られないようにして代理人の方へお渡しください。※代理人が受け取る場合、暗証番号の入力は、職員が行います。
- ③交付申請者の通知カード
- ④交付申請者の住民基本台帳カード（お持ちの方は、個人番号カードと引き換えになります）
- ⑤代理人の代理権を証明する書類
・法定代理人…戸籍謄本その他の資格を証明する書類（市内に本籍地がある方は、戸籍謄本の提出は不要です。）
・法定代理人以外…委任状（個人番号交付通知書兼照会回答書の裏面に委任欄がありますので、そちらに記入していただいても結構です。）
- ⑥交付申請者自身の本人確認書類 A及びBのうち3点以上
- ⑦代理人自身の本人確認書類 前述「問3」のAまたはB



▲月庭でランチを楽しみながら談笑する女性客たち

ふるさと未来ステーション月庭 TUKITEI (網野町木津) で12月19日、「乙女の会クリスマスパーティー」が開かれ、市内外から約60人の女性客らが訪れました。

同パーティーは、乙女の会代表の森田信子さん、高尾こずえさんが「今後、本格的に仕事にしたい自分の能力や趣味を試すなど、起業に向けたチャレンジの場所を作り、女性たちにも喜んでもらいたい」と今回初めて企画。会場が元旅館であるという特性を生かし、各個室に着物の着付け、エステ、占いの他、手作りパンや小物の販売など15軒が連なり、賑わいを見せていました。

また、夜には市内在住のギタリスト、山崎昭典さんのライブも開かれ、集まった女性たちは一足早いクリスマスを楽しんでいました。

月庭に15のブース。ならではの催しにぎわう

女性向けのクリスマス会開催

12月19日
網野町

世界でひとつのペンダント完成

アグリセンター大宮で七宝焼き講座 大宮町



大宮地域公民館が主催する七宝焼き講座が12月11日、アグリセンター大宮で開催されました。

七宝の文化は、江戸時代に定着し、金属の素地にガラス質の絵の具(釉薬)を焼き付けたもの。講座には9人が参加し、講師の岩西直美さんから、作業工程をはじめ、絵の具の種類や特徴、盛り付けの技法などを教わりました。

その後、ベースとなる銅製の下地に、約20種類の色の中から、好みのものを着色し、七宝炉(800℃)で1分程度焼いて、色の乗り具合を確認。途中、受講者同志で作品の出来を評価しながら、自分のイメージに近づくまで数回作業を繰り返し、約1時間かけて世界にひとつのオリジナルペンダントを完成させました。



▲子どもたちにクリスマスプレゼントを手渡す国際ソロプチミスト宮津のメンバー

サンタの贈り物に子どもたち笑顔

国際ソロプチミスト宮津が乳児院訪問 12月8日

峰山町

社会における女性の地位向上を目的とした奉仕団体、国際ソロプチミスト宮津(巽佳代子会長)が12月8日、児童養護施設峰山乳児院を訪問し、付設幼児寮で暮らす子どもたち14人と交流しました。今年で12回目。

この日、施設を訪れた11人のメンバーは、支援金と宮津高校の生徒が制作したおもちゃを贈呈。続いて、ハンドベルで「アンパンマンの歌」など3曲を演奏しました。最後には、サンタクロースが登場して、子どもたちに一足早いクリスマスプレゼントを届けました。子どもたちは「来年も来てください」などと声を掛け、笑顔で楽しんでいました。

丹後地域の高齢者施設などで演奏活動を展開しているハーモニカクラブ「久美浜ブラザーズ」が11月24日、94歳の渡辺アサ子さん(久美浜町)宅を訪問して出張演奏を行いました。

「久美浜ブラザーズ」は平成23年秋、東日本大震災の被災地慰問を機に結成。メンバーはふなや吉兵衛さん(本名・吉岡光義さん)、渡辺日出子さん、平林安枝さんの3人で、在宅で頑張っているお年寄りを生演奏で激励しようと、出張演奏の取り組みを企画しました。

初めての開催となったこの日、メンバーは「赤とんぼ」や「荒城の月」、「ふるさと」など14曲を披露。渡辺さん宅には、近所の友人3人も訪れ、曲に合わせて一緒に歌ったり、昔話に花を咲かせたりして憩いのひとときを過ごしていました。渡辺アサ子さんは「夢のような楽しい時間で、元気が出ました」と笑顔で話していました。

※出張演奏を希望する方は、代表のふなや吉兵衛さん(☎83-0441)まで。市内であればどこでも無料で出張可能。

高齢者宅に、癒しの音色、届ける

11月24日
久美浜町



▲高齢者宅でハーモニカの演奏を披露する「久美浜ブラザーズ」のメンバー



▲見本を参考にパーツを重ね完成を目指す参加者

新しい年への想いを馳せながら、楽しく迎えられることを願い12月13日、是安センターで「干支の色紙」づくりが開催されました。是安区の福祉委員が呼び掛け、今年で5回目。

色紙づくりには、11人が参加し、福祉委員の難波敏栄さんから作り方の説明を受けながら制作をスタート。烏帽子をかぶり、片手に打ち出の小槌、チャンチャンコを羽織り、笑みを浮かべる「申」を参考に、用意されたフェルトや千代紙、紐を使い、見よう見まねで色紙にパーツを貼り付けていきました。

参加者は、「普段家の近くで目にするサルとは表情が違う」「自分の体型みたいにふくよか」などと談笑しながら、愛くるしい笑みを浮かべたサルを約1時間半かけて完成させました。

難波さんは、「簡単にできて、子どもからお年寄りまで楽しめる。これからも年末の催しとして続けていきたい」と話していました。

いつもと違う、笑顔の申で新年を

12月13日

丹後町



◀額に汗しながら、童謡「桃太郎」の歌に合わせてゴム飛びに挑戦する児童たち

▼ウインズやさか野のメンバーから、お手玉を投げたり受け取ったりして遊び方を教わる児童たち



▲児童たちが、ウインズやさか野のメンバーから、お手玉を投げたり受け取ったりして遊び方を教わる様子

共助

溝谷区自主防災会

～のぼり旗で防災意識を高める～



▲区内に掲出されたのぼり旗

溝谷区自主防災会は、40～60歳代の区民を中心に55名（平成27年4月現在）で構成されています。

主な活動は、区民を対象とした救急講習会や消火栓取扱い訓練を実施しています。また、毎月1日を「防災の日」と決め、区内の日立つ場所にのぼり旗を掲出したり、「溝谷区自主防災会だより」を発行して、区民の防災意識を高めるための広報活動にも力を入れています。

◎弥栄町溝谷

◎発足 平成26年3月1日

◎会長 吉岡 厚司



▲防災への思いを熱く語る、会長の吉岡厚司さん（左）と区長の田畑佐一郎さん（右）

溝谷区は、高齢者福祉施設が多い地区であり、災害発生時には、施設と地区の連携が必要不可欠です。

お互いの連携を強化するためにも訓練やミーティングを継続し、区の安全・安心につなげていきたいと考えています。

自主防災組織は、「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚、連帯感に基づき、自主的に結成する組織であり、災害による被害を予防し、軽減するための活動を行う組織。平成27年9月1日現在、本市では、135の自主防災組織が活動中。

共助

新庄区夜番

～拍子木で火の用心～



▲拍子木を打ち鳴らしながら区内を回る親子

新庄区では、区民に火の用心を呼びかけるため、拍子木を打ち鳴らしながら区内を回る「夜番」を行っています。これは過去に同区で発生した火災をきっかけに始まったと言われ、58戸（平成27年1月現在）が順番にほぼ毎日回っています。以前は大人と

子供がそれぞれに行っていましたが、現在は子供が少なくなり、大人の夜番だけが残っています。

◎久美浜町新庄



▲子供のころを懐かしむ吉田三郎さん（左）と岡下宗男さん（右）

夜番は子供のころから回っています。悪天候で辛いときなどもありましたが、近所の子供たちが集まり一緒に回ったことは楽しい思い出です。拍子木を打ち鳴らしながら歩いていると、自分自身の防

火意識の高まりを感じたものです。今は子供たちだけで回ることはありませんが、防火意識を高めるためにも、大人の夜番はこれからも続けてほしいものです。

公助



▲東日本大震災被災地で活動する京都府緊急消防援助隊

「自助」「共助」「公助」の連携の輪を広げよう

災害対策の第一歩は、一人ひとりが防災意識を高め「自助」の力を高めることです。自分一人では対応できなくなったとき、頼れるのは「共助」です。

そして、「公助」の手が円滑に被災者のもとへ届けられるには、「共助」との連携が欠かせません。こうした連携が被害の拡大を防ぎ、素早い復興、復旧にもつながります。

いつ発生するかわからない災害に備えて地域が一体となり、「自助」「共助」「公助」の連携の輪を広げていきましょう。

自助・共助・公助

の連携で災害に備える！



災害対策においては、自助・共助・公助の連携がスムーズに行われることが重要だとされています。

今回は、特に「共助」にスポットを当て、さまざまな活動に力を入れておられる地区取材してきましたので紹介させていただきます。

消防の広場

119

火事・救急・救助

ついていますか
住宅用火災警報器
月に一度は動作点検

「自助」が災害対策の基本

東日本大震災のような大きな災害が発生すると、行政機関も大きな被害を受け、被災者を迅速に支援（公助）することが難しいこともあります。

そのような場合には、一人ひとりが自発的に避難行動や救助活動を行うことが重要になってきます。

いつ発生するかわからない災害に備え、自分でできること、家族でできることを考え対策しておくことを「自助」といい、これが災害対策の基本となります。

大規模災害時は「共助」が重要

大規模な災害を前にすると、自分や家族だけでできることには限界があります。

隣近所や地域全体で力を合わせ、高齢者など災害時要配慮者の避難に協力したり、避難所の運営を行うなど、相互に助け合う「共助」が重要な役割を果たします。

共助

奥大野ふるさとレスキュー

～地域の安心・安全のため～

◎大宮町奥大野

◎発足 平成27年7月10日

◎代表 川口 勝彦



▲平成27年10月23日、発足式で看板を掲げる川口代表（左）

この度、京都府等の協力により奥大野ふるさとレスキューを発足させることができました。

今後は、登録メンバーが救急講習会や認知症サポーター養成講座などを受講して、けが人への応急処置や高齢者のサポートを担える高い知識・技能を持った区民を増やしていきます。

そして、区民同士が助け合える「自助」「共助」の意識が高い区・隣組を目指します。

奥大野ふるさとレスキューは、消防団、自主防災会、福祉の会などに所属する区民112名（発足時現在）から構成されています。

主な活動は、区民を対象とした講習会を開催したり、高齢者の見守り活動などを行っています。また、毎月8がつく日（8日、18日、28日）には、「火の用心」ののぼり旗を立て、防火意識の高揚を図っています。



▲救急講習会を受講する登録メンバー

ふるさとレスキューは、消防署から遠隔地となる中山間地域で、消防団員を中心に大規模災害時の救助や、救急隊が到着するまでの応急手当や救護などに、地域ぐるみで取り組むための仕組みで、京都府が実施する事業。

このコーナーでは、弥栄病院で赤ちゃんの誕生を喜ぶご家族の姿を紹介し
ます。ご応募いただいた全ての方を掲載しています。どしどしご応募ください。
詳しくは秘書広報広聴課「生命の絆」係まで(☎ 69-0110)



生まれてきてくれてありがとう
元気に育てね!!



中江 寧音ちゃん(女の子)
11月生まれ・2,986g
母：裕衣さん 父：良輔さん(丹後町此代)

さどがえい



やっと会えたね、
これからは一緒に楽しく暮らしていこう！
よろしくね！ 父より



中田 倫太ちゃん(男の子)
11月生まれ・2,560g
母：あゆ美さん 父：亮太さん
(神奈川県川崎市／実家：網野町網野)



山口家へようこそ!!
お兄ちゃんと一緒に仲良く
元気に大きくなろうね♡



山口 旺誠ちゃん(男の子)
11月生まれ・2,650g
母：未菜子さん 父：航路さん
(久美浜町市野々)



お父さんとお母さんのところに
産まれてきてくれてありがとう♡
みんな、待ってたよ♡



堀 花萌ちゃん(女の子)
11月生まれ・3,166g
母：美穂子さん 父：弘樹さん(峰山町浪花)

さどがえい



産まれてきてくれてありがとう♡
これから、パパママお姉ちゃんと
たくさんのおもいごをつくらせていこうね😊



藤原 湊真ちゃん(男の子)
11月生まれ・3,002g
母：智穂さん 父：正人さん
(与謝野町／実家：峰山町丹波)



大きな産声と共に元気に生まれてきて
くれてありがとう♡これから色々な思
い出を、いっぱい作ろうね!



林 帝成ちゃん(男の子)
11月生まれ・3,986g
母：真理子さん 父：裕典さん
(大宮町河辺)



ありがとう！
あなたと出会えた事に感謝。
共に明るく元気に楽しく成長していこう!!



高野 華央ちゃん(女の子)
11月生まれ・2,618g
母：奈緒さん 父：聡顕さん
(峰山町吉原)



元気に生まれてきてくれてありがとう♡
お兄ちゃんお姉ちゃんが楽しみに
待ってたよ♪



田中 碧海ちゃん(男の子)
11月生まれ・3,952g
母：友子さん 父：豊隆さん(網野町網野)

平成 27 年度「京丹後市小町ろまん全国短歌大会」を開催

応募総数 5,304 首

峰山高・鈴木さんら 4 人に大賞

網野町のアミティ丹後で11月28日、平成 27 年度京丹後市小町ろまん全国短歌大会を開催しました。本年度は、北は北海道から南は沖縄まで日本全国から 4 部門（一般・高校生・中学生・小学生）で 5,304 首の応募がありました。

大会当日は、140 人が来場。「短歌をつくるということ」をテーマとした、佐伯裕子さんの記念講演をかわきりに、5 名の選者による厳正な審査によって決定した「大会大賞」をはじめ各入賞作品の発表及び表彰、選者による選歌講評が行われました。

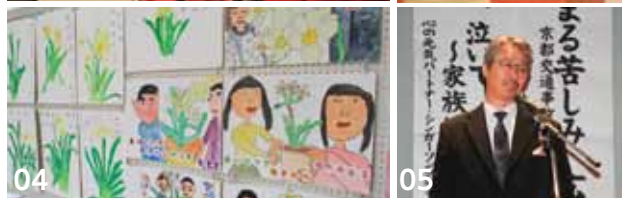


平安時代の女流歌人で大宮町五十河が終焉の地と言われている

大賞作品

一般	氷割りて姉妹四人の挿す花に 母の墓前は春色となる	岡山県津山市 内田 三和子さん
高校生	目の前に見えた道はわかれ道 方位磁針は回り続ける	京都府立峰山高等学校 鈴木 望友さん
中学生	靴ヒモをむすぶ私の小ささと 果てない青の空の大きさ	京丹後市立弥栄中学校 古舘 歩花さん
小学生	うろこぐも大きいさかなおよいでる そこからぼくが見えるのかな	京丹後市立大宮南小学校 横田 大翔くん

Pick-up



01.人権啓発イメージソング「世界がひとつの家族のよう[に]」を合唱する市少年少女合唱団協議会の皆さん 02.歌で元気を届ける石川さん
03.人権作文を発表する森岡さん 04.人権の花を描いた豊栄小学校の子ども達の作品 05.交通事故の悲惨さを訴える中江さん

人権・男女共同参画啓発イベント
ハートフルフェスタ「みんなのつどい」を開催
「一人ひとりの幸せ（きこ）〜咲かせよう笑顔の花〜」
アグリセンター大宮（大宮町）で11月28日、ハートフルフェスタ「みんなのつどい」（市、市女性連絡協議会など主催）を開催しました。参加した市民ら約200人が講演会や中学生の作文発表などを通して、男女共同参画の推進や人権の尊重の大切さについて学びました。

中学生による人権作文の朗読では、平成26年度全国中学生人権作文コンテスト京都大会で優秀賞に選ばれた森岡千怜さん（弥栄中3年）ら6人が発表。森岡さんは、「命の尊さ」と題し、闘病の末に他界した祖母との暮らしを綴った作文を発表。「人の命は、その人のものだけでなく、支えてくれた家族や周りの人、みんなのものだと思う。だから一つの命が生まれそして絶えるまで、すばらしいものになるよう、一日一日を大切に生きたい」と主張しました。

人権・男女共同参画をテーマとする講演会では、消防士として勤務しながら、うつ病の妻を支えた経験を持つ、シンガーソングライター石川達之さんが「笑って、泣いて、心の元氣〜家族は同志、ささあいつ〜」と題して、歌を交えて語り掛けました。石川さんは、「笑う」ことの大切さを説き、そのためには、「自分に合ったストレス解消法を持つべき」と話した後、都会で暮らす息子を想う親心を綴った歌を映像とともに披露。多くの親が経験する出来事を表現した歌詞に、場内は温かな雰囲気包まれていました。

また、久美浜子供太鼓あまべっこによる太鼓演奏や京丹後よさこい連による演舞、京丹後市少年少女合唱団協議会が京都府人権啓発イメージソング「世界がひとつの家族のよう[に]」を歌いイベントに花を添えました。

このほか、犯罪被害者講演会として、京都交通事故被害者の会「古都の翼」代表の中江美則さんが命の大切さ、交通事故の悲惨さを訴えたほか、人権擁護委員による人権相談も行われました。



縁城寺鑄銅五具足（縁城寺所蔵）

制作年代や寄進者が分かる鑄銅五具足

縁城寺に伝わる五具足は、江戸時代に峯山藩の藩主であった京極氏とその関係者が寄進したものです。銘文を見ると、香炉は宝永2年（1705）、花瓶は宝永7年（1710）に、第四代藩主京極高之により寄進され、燭台は寛保元年（1741）に、峯山藩江戸屋敷の観音講から寄進されたものです。

このように縁城寺の鑄造五具足は、制作年代や寄進者が分かる資料である点が評価され、昭和60年3月28日付で峰山町指定文化財（工芸品）に指定され、平成16年の京丹後市発足とともに市指定文化財となっています。

（文化財保護課）



山陰海岸ジオパーク児童・生徒研究作品コンテスト

島津小の小山京太郎君が最優秀賞

山陰海岸ジオパーク推進協議会では、昨年6月〜9月、山陰海岸ジオパークエリア内の児童・生徒を対象に、エリア内の地質や動植物などについての研究作品を募集する、「山陰海岸ジオパーク児童・生徒研究作品コンテスト」を開催しました。

審査の結果、応募作品104点の中から、島津小4年の小山京太郎君が最優秀賞を受賞。努力賞には、島津小4年の眞柴澤音さん、網野北小6年の井本智己さんがそれぞれ選ばれました。



最優秀賞を受賞した小山京太郎君。山陰海岸ジオパークの成り立ちや特徴などについて、イラストや写真、文章を効果的に用いてうまくまとめている点が高く評価された

世界ジオパークのユネスコ正式事業化が決定！

ー山陰海岸ジオパークの発展に大きな弾みー

昨年11月17日（現地時間）、フランスのユネスコ本部で開催された第38回ユネスコ総会において、これまで、ユネスコの支援事業として行われてきた世界ジオパークネットワークの活動がユネスコの正式事業となりました。正式事業には、世界遺産やユネスコエコパ

ークなどがあり、世界ジオパークはその1つとなります。正式事業化に伴い、市では、山陰海岸ジオパークの貴重な地形・地質の保護保全はもとより、それを生かした地域の持続的発展に向け、取り組みを一層進めていきます。

地域への誇りを持てるよう、ジオパークを活用した教育を推進していきます。



山陰海岸ジオパーク

図書館だより

1月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13

- ◆開館時間／10時～18時（峰山・あみののみ水曜は19時まで）
毎週月曜・毎月1日は休館日（土日祝日と重なる場合は翌日）
- ◆貸出／1人20点まで・2週間
- ◆図／峰山図書館（☎62-5101） 大宮図書室（☎69-0672）
あみの図書館（☎72-4946） 弥栄図書室（☎65-2101）
久美浜図書室（☎82-1771） 丹後図書室（☎69-0664）

今月のおすすめ

『さるじぞうはいはい』

子ども向け

大川 悦生／作
梅田 俊作／絵
ポプラ社



そばこもちを食べておなかいっぱいになったじいさまは、ほっぺにくろっぽいそばこをつけたままねむりこんだ。それをみたさるたちは、じいさまをお地蔵さまとまちがえてはいはいとお堂まではこんでしまった。さるがでてくる民話。絵を描かれた梅田俊作さんは網野町出身です。

『大和コロニー』

フロリダに「日本」を残した男たち

川井 龍介／著
旬報社



大人向け

20世紀初め、ここ丹後の地から開拓民としてアメリカフロリダ州に渡った若者たちがいた。その日本人入植地は「大和コロニー」と呼ばれた。開拓の地でのさまざまな出来事、その足跡、人生模様を描いている。最後までフロリダに残った森上氏の土地は、現在、日本庭園として整備されている。

<図書館豆知識>

今年は申年です！

“申”は、時刻を示すのにも用いられ、午後4時の前後2時間を「申の刻」「申の時」と言います。「申の刻」は日没に近いことから、物事の盛りを過ぎたことのとえとして、古くなった衣服などをさして使うこともあります。

“猿”が用いられることわざには、「猿も木から落ちる」（どんなにその道に優れていても、時には失敗をすることがある）、「猿に烏帽子」（人柄にそぐわない服装や言動をすること）などがあります。昔は猿を馬小屋の守護とする信仰があり、農家では「申」と書かれた紙を馬小屋に貼っていました。また、正月や祭りの際は、猿が馬を引くところが描かれた絵馬や神札が用いられたことから、取り合わせのよいもののとえとして、言われています。

他にもどんなことわざや言い伝え、お話があるのか、図書館で調べてみませんか。



丹後図書室におさるさんがやってきました。会いにきませんか。（利用者の方の作品です）

『読み聞かせ&ミニコンサート』開催

丹後図書室では11月23日、音楽に合わせてお話を楽しむ「読み聞かせ&ミニコンサート」を開催しました。

この日は、生田流正派瑠邦会の皆さんが、3台の琴による演奏で、日本情緒あふれる読み聞かせを演出。詰めかけた来場者は、琴の美しい音色とともに、絵を大きなスクリーンに映し出した「かぐや姫」のお話やパネルシアターなどを楽しんでいた。また、ミニコンサートでは、童謡のメドレーや邦楽「雨の水前寺にて」が演奏され、大人も子どももゆっくりと憩いのひとときを過ごしていました。



琴の演奏とともに、「かぐや姫」のお話を楽しむ来場者

災害時多言語情報センター設置訓練を実施

災害時に外国人へ必要な情報を届ける「多言語情報センター」の設置訓練（京都府国際センターと共催）を12月7日、市役所峰山庁舎で行いました。府内全域の国際交流協会のほか、昨年8月に「広域他市連携パートナーシップ協定」を結んだ（公財）西宮市国際交流協会など約50人が参加して、災害時の外国人支援を体験しました。

この日は、大地震が発生し、府内のボランティアなどが支援に駆けつけたとの想定で訓練を実施。参加者は、さまざまな情報を項目ごとに整理して、外国語に翻訳していきました。



講師から多言語情報センターの役割について学ぶ参加者たち

市国際交流協会では11月11日、アミティ丹後（網野町）で、昨年度、市が策定した「多文化共生推進プラン」について理解を深めるためのワークショップを開催しました。

この日は、外国人市民のほか、市内企業や団体、日本語ボランティアなど60人が参加。基調講演や事例紹介を通じて多文化共生について学び、それぞれの立場でできる取り組みを話し合いました。

事例紹介では、中国出身の手漫さんが外国にルーツを持つ子どもや保護者の思いを紹介し、「誰もが能力を発揮できる社会に」と訴えました。この他、フイリピン出身の田茂井ナセルさんが、外国人が働きやすい職場環境について意見を述べたほか、外国人を日本人と同じように雇用している「みねやま福祉会」

の取り組みも紹介されました。続いて、参加者たちはグループに分かれて意見交換を行い、「市内で暮らす外国人の意見を聞く場を設けたい」「国や文化で人を見るのではなく、コミュニケーションしていくことが重要」などと発表し合いました。



多文化共生を実現するための取り組みについて意見を交わす参加者たち

京都府丹後文化会館 インフォメーション

平成27年度 京都府文化力チャレンジ事業

丹吹・柴音・プティエトワール コラボ 琴楽舞演奏会

3/21（月・祝）

時 開演14:00（開場13:30）

所 京都府丹後文化会館（峰山町杉谷）

料 500円（小学生以下不要）《全席自由》

図 丹後吹奏楽団 団長 田中博之（☎090-3465-8017）
京都府丹後文化会館（☎62-5200）

主催／丹吹・柴音・プティエトワール実行委員会

共催／（公財）京都府丹後文化事業団 後援／京丹後市教育委員会・京丹後市文化協会

丹吹（丹後吹奏楽団）・柴音（マリンバアンサンブル）・プティエトワール（モダンバレエ）によるコラボ演奏会。単体・2団体のコラボ・全体コラボでの演奏、ダンスをお楽しみください。

前売券
発売中



広報クイズ

今月号の記事の中からクイズを出題します。全問正解者の中から抽選で5人に図書カード500円分をプレゼント！

問1「日本の〇〇〇〇大丹後展」を開催

問2 アグリセンター大宮で「〇〇焼き」講座

問3 世界ジオパークの「〇〇〇〇」正式事業化が決定

◆応募方法

はがきに ①クイズの答え（○の中に入る数字や文字） ②住所 ③氏名（ふりがな） ④年齢 ⑤電話番号 ⑥広報紙の感想やイラスト、取り上げてほしいテーマなどをご記入の上、秘書広報広聴課まで（宛先は裏表紙を参照）。なお、お寄せいただいた感想やイラストは広報紙に掲載することがあります。※⑥の項目も忘れずにご記入ください。

◆応募締切

1月29日（金）当日消印有効。ウェブサイトからの応募も受け付けます。（<https://www.shinsei.elg-front.jp/kyoto/uketsuke/sform.do?acs=kohoquiz>）

QRコードからもアクセスできます
当選者の発表は3月号のこのコーナーで

◆12月号の答え

問1…百歳 問2…14 問3…未来

◆12月号当選者

岸田朋子さん（網野町）、鳥山佳代子さん（大阪府豊中市）、高野幸宏さん（網野町）、村上美保さん（弥栄町）、井元美代子さん（久美浜町）

応募総数23人、全員正解でした。たくさんのご応募ありがとうございました。



外国人市民、市内企業など60人が参加
多文化共生
推進へ意見交換



京丹後人

69

kyotangojin

古代丹波歴史研究所

所長 伴とし子 さん (60)

(網野町木津出身)

▶「古代丹波歴史研究所」で古代丹後の歴史研究に取り組み伴とし子さん



古代丹後を今に伝える 歴史研究家

伝説や伝承が数多く残り、かつて「王国」があった地として語られる丹後地域。そんな丹後の歴史をひもとく、「大和政権の礎を築いた。日本（のふるさと）」として全国に発信する歴史研究家、伴とし子さんに話を伺った。

「丹後の魅力の中で、全国で、一番のものは何か。それがこの地で暮らす私の誇りにもなるはず」。若い時から、そんな思いを抱いていた伴さんは、木津温泉駅で見た嶋児神社の絵看板を思い出して、全国的に有名な「浦島伝説」が地元にもあることに着目した。調査を進める過程で「浦島伝説は全国にあるが、文献学上最古のもの（丹後で、いわば発祥の地。しかも、同じ地域に最古の羽衣伝説も伝わっている）」ことが分かった。「丹後には全国に誇れる歴史があるに違いない」と歴史研究家の道を志した。

網野高校を卒業後、文学と歴史を学ぶため、大谷大学へ進学。その後、歴史の研究に必要な知識を身に付けるため、佛教大学で博物館学芸員の資格も取得した。24歳の時に、丹後に戻って中学校の講師を務める傍ら、初めての著書となる「網野の浦島伝説」を書き上げた。

25歳の時、結婚を機に滋賀県の近江八幡市へ嫁いだ伴さんは、地方公務員として働きながら、頻りに丹後に通って調査・研究に没頭した。

これまでの研究から、「弥生後期の卑弥呼の時代に輝かしい文化を持った先進地であり、大和政権の基礎を創ったのは大丹波王国（＝丹後王国）で、この地こそ日本の源流である」と力説する伴さん。その根拠として、古代日本の表

※丹後王国：和銅6年（713年）の丹後国建国前、丹後半島を中心に存在し、当時の大和王権に匹敵する勢力を誇ったとされる地域国家

玄関は日本海沿岸で、大陸との交流を示す遺品が出土していること、高い技術力が伺える奈良岡遺跡（弥栄町）の水晶や、弥生時代後期に造られたものとしては国内最大級の赤坂今井墳墓から出土した豪華な頭飾りなどをあげる。さらに、籠神社が所蔵する国宝「海部氏系図」から、「大陸との交流を担った強力な『海人族』の拠点が丹後にあり、大丹波王国（＝丹後王国）は、大和に進出していることが読み取れる。また、近隣の若狭や近江、山城、大和まで、広く近畿一円に勢力を誇っていたことが分かる」と主張する。

伴さんはこれまで「海部氏系図」を研究の柱として、大丹波王国（＝丹後王国）論を展開する数々の著書を出版してきた。平成25年には、「丹後建国1300年事業」の一環で作成した、丹後に卑弥呼がいたとする仮説を漫画で紹介する冊子「丹後王国物語」の編集にも携わった。

昨年3月、定年を迎え退職。研究に本腰を入れようと、籠神社の敷地内に念願の研究所を設立した。「丹後」は和銅6年（713年）に丹波国が分国されてできたもの。それ以前の古代は「丹波」という地名であり、範囲も広大であった」として、「古代丹波歴史研究所」と名付け、自身は所長を務める。現在、古代史の研究をはじめ、会報の編集や新たな著書の執筆に取り組むほか、今後は、全国を舞台に、研究会や講演会を開催していく予定だ。

「丹後の歴史を解明することは、いち地方史にとどまらず、日本史を解明すること。この研究所を拠点に古代丹後を探求し、全国・世界へ発信することで、今の丹後をもっと輝くものにした」と意気込む伴さん。「日本のふるさと丹後の素晴らしさを若い人にも伝え、この地で暮らすことに誇りを持つてほしい」と締めくくった。

つぶやき

明けましておめでとうございます。正月は、親戚への挨拶回りや新年会などで、つい食べ過ぎてしまったという方も多いのではないのでしょうか。▼今号では、新春企画として、今年の干支にちなみ、市民の皆さんに一年の「目標」や「抱負」を申していただきました。素敵な笑顔、真剣な表情とともにお届けします。▼「申」と言えば、「見ざる、言わざる、聞かざる」の三猿が有名な（自分の心をまごわすもの）や、他人の欠点は、「見ない、言わない、聞かない」という意味があるようです。逆の見方をすると、魅力的なものや人の長所を、「見る、言う、聞く」ことが大切という意味にも捉えられます。▼私たち広報マンも、広い視野を持ち、高いアンテナを張りながら旬の話題をキャッチして、発信・紹介していきたいと思ひます。▼どうか市民の皆さんにとって、良き年でありますように／秘書広報広聴課

人口・世帯数

男	27,782人（－21）
女	29,917人（－33）
計	57,699人（－54）
世帯数	22,711世帯（＋8）
12月1日現在、カッコ内は前月比。	
住民基本台帳（外国人含む）による。	



あけましておめでとうございます

皆さんにとって
素敵な1年となりますように